

■地区の概況及び事業の目的

新長田駅北地区は、新長田北エリア(42.6ha)と鷹取北エリア(17.0ha)に分かれています。

新長田北エリアは、神戸市の都心三宮から西へ約6kmに位置するJR新長田駅の北に広がるエリアです。震災前は、商業・業務施設やケミカルシューズ等の工場、並びにこれらと混在するかたちで狭小住宅等が立地する住商工混在地域であり、道路・公園等都市基盤も不足していました。

当地区は、今回の地震により約8割の建物が大きな被害を受けました。早期の復興及び安全・安心で快適な市街地整備のため、震災復興土地区画整理事業を実施しました。

鷹取北エリアは、JR鷹取駅の北側に位置し、同鷹取工場の移転に併せて、復興住宅の建設や防災拠点としての整備を図るため、平成9年3月3日に新たに事業区域に加えました。

■復興まちづくりの経緯

- <平成7年>
5月28日/「水四まちづくり協議会」設立(平成8年6月13日までに21地区で設立)
10月4日~平成8年10月30日/
19協議会で地元まちづくり提案を神戸市に提出
- <平成8年>
6月22日/「新長田駅北地区連合まちづくり協議会」設立
7月9日/事業計画決定
11月5日/都市計画変更(区域拡大:鷹取北エリア17.0ha)地区計画決定(新長田駅北・西)
- <平成9年>
1月20日/仮換地指定開始
2月28日/地区計画決定
(新長田東、新長田駅北・川西大道)
3月3日/事業計画変更(区域の拡大:鷹取北エリア)
- <平成13年>
10月22日/地区計画決定(鷹取駅北)
- <平成14年>
4月1日/「新長田駅北地区東部まちづくり協議会連合会」設立
- <平成17年>
3月28日/鷹取駅地下道、鷹取駅北駅前広場 完成
- <平成19年>
3月21日/せせらぎ、細田町公園 完成

■地区諸元と事業計画の概要

		新長田駅北地区
地区面積		59.6ha
震災前状況	人口・世帯数	7,587人・3,267世帯
	建物棟数	2,217棟
被災状況	全壊数	1,580棟
	半壊数	200棟
	被災率	80%
事業計画決定		平成8年7月9日(42.6ha)平成9年3月3日(17ha追加)
減歩率		9%(新長田北エリア)
総事業費		約1,034億円

- <平成21年>
3月29日/水笠通公園 完成
10月25日/水笠通西公園 完成
11月24日/中地区まちづくり協議会 まちづくり協定締結
- <平成23年>
3月28日/換地処分



震災前 平成6年5月



震災後 平成7年5月

